

校長室だより

平成18年10月19日

第 100 号

榎並っ子

大阪市立榎並小学校長 小林 恵子

自覚をもって行動できた修学旅行

10月10・11日と6年生が、鳥羽方面へ修学旅行に行ってきました。1日目は晴、2日目は活動する時は、小雨時々曇というように、まずまずの天候に恵まれ、子どもたちは、一つ一つの行事を楽しく充実したものにすることができました。

＝ 1日目 ＝

77名全員元気に学校を出発。「あおぞらⅡ号」に乗り、2時間余りで、志摩磯部に到着しました。そこからシャトルバスに乗り換え、お昼前に志摩スペイン村に到着、昼食後、各グループに分かれ地図を見ながら会場を回りました。どのグループも男女仲良くお互いにゆずり合って回る場所を決めており、ほほえましく思いました。午後3時からのお土産タイムまで、スペイン村の施設で子どもたちは、楽しい思い出をたくさん作ることができました。



子どもたちが楽しみにしていた旅館「海月」での宿泊。旅館の女将さんから「榎並小学校の子どもさんは、大変行儀がよく、先生が言われることをしっかり守って行動していますね。」と何度もほめていただきました。夕食には、鳥羽ならではの伊勢海老鍋が用意されており、子どもたちは、舌鼓を打ちながら味わいほとんど残さず食べていました。

夕食後、旅館の一室で、ネイチャーセミナーが行われました。鳥羽水族館の方に来てもらいジュゴンのことについて、映像を見ながら話をさせていただきました。水族館の方が、ユーモアを交えて分かりやすく話をされたので、子どもたちは興味をもって聞いていました。その後、入浴する組とお土産を買う組に分かれて交代で、旅館の前にあるお店でお土産を買いました。どの子も決められた金額の中で、家族や親戚の人たちへのお土産を一生懸命考えて購入しており、その姿に感心させられました。



＝ 2 日目 ＝

子どもたちは、午前5時30分に起床し、船で菅島に渡りました。あいにく小雨が降りだしましたが、子どもたちはものともせず、つりコースと散歩コースそれぞれに分かれ活動しました。散歩コースの子どもたちは、菅島の自然について、ガイドさんからいろいろ話を聞いたり、クイズに答えたりするなど、貴重な体験をすることができました。つりコースの子どもたちも、昨夜旅館のご主人から教えていただいた魚つりのコツをしっかりと守り楽しんだようです。菅島でのいろいろな体験は、都会で生活している子どもたちにとり新鮮で思い出に残るものとなったことでしょう。

旅館に帰った後、鳥羽水族館に見学に出かけ、再び旅館に戻り、郷土料理のてこね寿司と伊勢うどん、そして、子どもたちが早朝につった魚の煮つけを食べました。続いて、閉舎式を行った後、2日間の楽しかった思い出を胸に、鳥羽を後にしました。修学旅行でのいろいろな体験を通し、子どもたちは、最高学年としての自覚と自信を育ててくれたことと思います。



〔地域の運動会〕 —地域の老若男女のふれあいが深まる—

10月15日の日曜日に、エナミスポーツフェスティバルが、本校の運動場で行われました。当日は、雲一つない絶好のスポーツ日和で、多くの地域の老若男女が一堂に集い、秋の一日よい汗をかき家族で楽しむことができました。本校の子どもたちも徒競走やパン食いゲーム、障害物ゲームなどの種目に多数参加していました。また、全部で14ある町会の対抗種目のリレーや三輪車競争、玉入れ、綱引きトーナメントでは、各町会のみなさまが、大人も子どもも一致協力してがんばり白熱戦を繰り広げていました。中でも、クライマックスの綱引きトーナメントでは、選手だけでなく、応援合戦にも火花を散らし、ポンポンや応援旗などを使って選手の方々の士気を高めている姿に、町会のみなさまの結束力の強さを感じさせられました。

子どもたちは、エナミスポーツフェスティバルを通して、親子のふれあい、また、地域の方々とのふれあいを深め、次々とよき伝統を引き継ぎ、地域を愛し地域の担い手として、大きく成長してくれることと思います。今後とも、榎並小学校の子どもたちに温かいご支援をいただきますようお願いいたします。

